

## 2009年フランス語教育国内スタージュ

日本フランス語フランス文学会、日本フランス語教育学会、在日フランス大使館の三者は次の要領で、フランス語教育国内スタージュを共催します。

参加を希望される方は募集要項にしたがってご応募下さい。

### 記

#### 2009年フランス語教育国内スタージュ募集要項

主催：日本フランス語フランス文学会 日本フランス語教育学会 在日フランス大使館

期日：2009年3月21日（土）13時 ～ 3月24日（火）18時30分

（時間に関してはプログラム確定後に若干の変更の可能性あり）

会場：東京日仏学院（飯田橋）

東京都新宿区船河原町15（JR・東京メトロ飯田橋駅徒歩5分）

目的と概要：

言語教育にかかわる分野を概観し、フランス語教授法および教育技能について基礎知識を習得する。フランス語教育の専門家を講師として、4日間の集中研修を行う。講義・演習を含めた研修内容により、参加者各自の教育活動の実情に即して改善すべき課題を明確にする。修了者には日本フランス語フランス文学会、日本フランス語教育学会、在日フランス大使館文化部による修了証が与えられる。本スタージュ修了者のうち若干名がフランス大使館により選抜されて2009年夏にフランスで実施される教員対象の研修コースに派遣される予定である。<sup>(注)</sup>

内容：添付書類を参照のこと。

募集人数：20名程度。応募者から主催者が書類選考する。

応募資格：日本フランス語フランス文学会または日本フランス語教育学会の会員であって現在フランス語教育にたずさわっている教員もしくは近い将来たずさわること希望する大学院生。

参加費：16,000円

滞在費補助：遠隔地からの参加者でホテル等に宿泊する参加者には1泊5,000円の滞在費補助を行う。

提出書類：(1) 参加申込書、(2) 履歴書（フランス語）、(3) 応募者アンケートをフランス語教育国内スタージュ事務局宛てに角2封筒（A4の大きさ）で郵送すること。

応募期間：2008年11月10日～2008年12月19日(消印有効)

応募・問い合わせ：フランス語教育国内スタージュ事務局

住所：〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿3-9-25 日仏会館505

日本フランス語フランス文学会気付

電話：03-3443-6671 fax：03-3443-6672 E-mail：sjllf@jade.dti.ne.jp

(注) フランスにおける夏季研修の選抜については、原則として教歴のある方を対象としており、フランス大使館文化部から下記の基準が示されています。

### **Critères de sélection des candidats boursiers à la formation professionnelle en France (juillet/août)**

La sélection des stagiaires du stage de mars se fera collégialement entre la SJDF, la SJLLF et le Service culturel de l'Ambassade de France. Au contraire, la sélection des professeurs boursiers relève uniquement du Service culturel.

Afin de sélectionner les professeurs boursiers et stagiaires (formation professionnelle en France durant l'été 2009), le Service culturel retiendra les critères de sélection suivants :

- \* l'expérience professionnelle antérieure du professeur
- \* la participation au stage de mars (on demandera un court compte rendu personnel de participation au stage de mars)
- \* un entretien avec l'Attaché linguistique du Service culturel de l'Ambassade de France au Japon
- \* le projet de formation du professeur

(添付書類)

## 2009年フランス語教育国内スタージュの内容について

このスタージュは教え始めて間もない若手の先生方だけでなく、豊かな経験を積んでこられた先生方、そして近い将来フランス語を教えることを希望する大学院生も対象としています。既に教職にある先生方には教える仕事のあり方を振り返り、問題点や解決策をとらえ直す良い機会になり、これから教職を目指す方にはフランス語を教えるメティエをよく知る機会になることでしょう。

具体的には、日本におけるフランス語教育の現状をふまえ、教授方法や授業運営の技術について研修します。主な内容は、次のようなものです。(プログラムの詳細は、12月中旬に日本フランス語フランス文学会、日本フランス語教育学会のホームページに掲載します。)

- ・ 外国語教授法における言語と習得のとらえかたを知る。
- ・ クラス内での教師と学習者のかかわりをどのように作るのか具体的に考え、授業の組み立てかたや学習者が活発に参加する学習活動を探求する。
- ・ 発音、文法、文学などの教え方、ICT技術の利用法について理解を深める。
- ・ 学習の結果、習得されたことをどのように評価するのか、その方法に習熟する。
- ・ 教科書やさまざまな資料の選択基準、使いこなしかた、作成や展開について考える。

スタージュは、講義によって知識を得ることと、具体的な課題からディスカッションや作業をすることの組み合わせによって進めます。これは最終日の模擬授業の実施にも結びついていきます。スタージュを通じて、講義を担当する現職の教師の考えを具体的に聞くことができるだけでなく、他の参加者との意見交換をとおして互いに刺激し合い、横のつながりを作ることもできます。スタージュが終わったあとも、実践的な情報交換の場として新たなネットワークを構築できるでしょう。また、研究者としての興味と外国語の教師としての仕事のあいだをどのように関連づけていったらよいのかということについても、意見を交換することができるに違いありません。

なお今回は、京都大学が招聘するH. Besse、V. Castellotti 両先生にも講師として加わっていただき、最新の研究成果に基いた教育実践演習・講演をおこなう予定です。

### ◆Henri Besse (アンリ・ベス)

フォントネー/サン=クルー高等師範学校、パリ第8大学、パリ第3大学等で教鞭を取る。欧州評議会での仕事も多い。2000年 国家博士号を取得。FLE(外国語としてのフランス語)、およびFLS(第二言語としてのフランス語)教育に関して多数の著作がある。特に、フランス語教育における文法の扱いや教材の問題に造詣が深い。

### ◆Véronique Castellotti (ヴェロニク・カステロットティ)

フランソワ・ラブレ大学(トゥール)教授。FLE/FLS教育の専門家で教員養成にも多く携わる。多言語・多文化社会における言語教育、年少者教育について詳しい。

## (1)2009 年フランス語教育国内スタージュ参加申込書

年 月 日作成

ふりがな 氏 名		勤務校(学部 等)・職名	(大学院生の場合は所属大学院・課程・学年)	
生年月日・性別	年 月 日生／満 歳 (2009年3月21日現在) 男・女			
ふりがな 住 所	〒			
	電話：		E-mail：	
言語教育の経験について (例に倣ってこれまでに担当した代表的な授業について記入してください。)				
対象言語	機関	学習者	年数／週平均時間数	内容
(例)フランス語	専門学校	成人7～8人	2年／3時間	文法テキストを使用 日本語で説明
最終学歴				
職 歴	年 月～ 年 月 年 月～ 年 月 年 月～ 年 月 年 月～ 年 月 年 月～ 年 月			
フランス語圏での滞在経験 (滞在地、期間、目的など具体的に)				
フランス政府による給費留学・スタージュの経験 無・有 ( 年度)				
所属学会	<input type="checkbox"/> 日本フランス語フランス文学会 <input type="checkbox"/> 日本フランス語教育学会 <input type="checkbox"/> いずれもなし			

## (2) 履歴書 (フランス語)

下記の書類をフランス語で作成し提出してください。A4の用紙を用い書式は自由とします。

Présentez :

Un curriculum vitae (cv) en français qui reprend et explique les éléments de votre formation initiale (parcours universitaire) et les activités professionnelles en cours (structure et type d'enseignement, niveau, méthode, nombre d'étudiants, etc.).

## (3) 2009年フランス語教育国内スタージュ応募者アンケート

以下の(1)～(4)の全項目にご回答ください。A4の用紙を用い書式は自由とします。(教育経験のない方は、これまでの外国語学習を振り返って学習者としての立場からの考察を回答し、その旨明記してください。)

(1)教材について。

1-1 今までに使ったことのある教材は、どのようなタイプのものが多かったですか。(タイトルをあげてもよい)

1-2 使いやすかった教材はどのようなものでしたか。どんなところが使いやすかったですか。

1-3 また、使いにくいと思った教材は、どのようなものでしたか。

1-4 「こんな教材があれば・・・」という教材は、どんなものですか。できるだけ具体的に述べてください。

(2)教室での活動について。

2-1 どんな活動がいちばんうまくいきますか。

2-2 反対に、やりにくくて困る活動はどのようなものですか。

(3)教師としての自分の能力の中で、弱いと思われる点、あるいは今後教師として充実していきたいと思っている点がありますか。それはどのような点ですか。具体的に記述してください。

(4) 上記(3)と関連して、スタージュではどんなことに力を入れてほしいと思いますか。